

- ・留学期間：3年次 夏期
- ・所属学科：総合社会学科

私は、カナダのモントリオールにあるマギル大学の語学研修夏季プログラムに参加しました。たった3週間という短い期間でありましたが、とても充実した時間になりました。

得意の英語もモントリオールでは・・・

私は、幼いころから英語に触れながら育ちました。そのおかげで海外への関心・興味が人よりも大きく、海外で生活することへの憧れから、高校生活の3年間をカナダのコモックスという場所で過ごした経験がありました。そのため、今回の留学も得意の英語で問題なく過ごせると思っていました。しかし、モントリオールではフランス語が公用語になっており、街に出ると標識や看板などありとあらゆる文字がフランス語でした。ドアに書いている「押す・引く」という単語ですら分からず、何度も間違えた記憶があります。また、昼食は大学近くのダウンタウンに出て食べるが多かったのですが、お店に入ると店員さんの一言目はどこも必ず「ボンジュール」でした。私がそれに対して「ハロー」と英語で返すと、店員さんが私を英語ユーザーと認識し、そこからは英語で話しかけてくれました。

新しい出会いから・・・

この語学研修には、日本以外に韓国や中国、メキシコの学生も参加していました。月曜日から金曜日に午前中は大学で英語の授業を受け、午後にはモントリオールを観光などのアクティビティを行いました。アクティビティには、美術館やノートルダム大聖堂、バイオドームに行きました。アクティビティは、10人くらいのグループに分けられ、一人のモニターがグループごとについてくれました。この留学には8割が日本人だったのですが、みんなの留学への意識が高かったのか、日本人同士でも英語でコミュニケーションを取っていました。どのアクティビティも日本では体験できないものばかりでとても面白かったです。アクティビティが終わると、夕食の時間まで2時間ほど自由時間があったので仲良くなったモニターと他大学の友達とダウンタウンで買い物したり、観光したりしました。夕食後はゆっくりしたり、施設内にあるプールで遊んだり、ジムで体を動かしたり、門限などは特になかったので、バーにお酒を飲みに行ったりしました。モントリオールでは飲酒は18歳からなので、1回生もお酒を飲めることができました。週末には、バスで5時間かけてケベックに観光に行ったり、ラ・ロンドという遊園地に友達と遊びに行きました。3週間の留学を楽しく過ごせたのは、そこで出会った友達やモニターと呼ばれる現地の大学生の存在があったからです。3週間という短い間でしたが、モントリオールで出会った友達と過ごした時間はとても濃いものでした。

充実したとはいえども・・・

モンリオールでの生活は楽しかった思い出のほうが大きかったです、大変だったこともありましたが、一番はお金です。モンリオールでの物価がすごく高く、日本で買えば 1000 円以内の物もモンリオールで買うと 2000 円はかかりました。シャンプーや歯磨き粉などの日用品を日本から持って行かずに現地で揃えれば良いと思っていたため、出費が大きかったです。それも、モンリオールは、税金が約 15 パーセントでそれにプラス飲食店などに行くとチップを払わなければならなかったからです。高校生の時にカナダにいたときは、払わないという選択肢もあったのですが、英語の授業の際に先生からカナダは日本よりも時給が安く、チップで稼いでいるため、必ず払うという決まりを覚えてもらいました。そのため、お金については留学中終始考えて生活していました。次に、3 週間滞在した EVO という施設で出される朝食と夕食のレポーターが少なく、味も変わっていて私を含め、みんなから不評でした。

予想外のできごと・・・

モンリオールで過ごして 1 週間経ったころから、日本人が次々に体調を崩し、高熱が出た人もいれば、おなかを壊す人などが多く出ました。今回が初めての海外という人も多くいたので、環境の変化などから体調を崩したのではないかと思いました。食べ物も日本と全く異なっていたり、8 月の昼間でも涼しく、朝と夜はとても冷えしました。長袖も数枚もって行くべきだったと後悔しています。また、月曜日から金曜日まで朝から授業を受け、昼からは外に出てのアクティビティー、夕食後も課題やモニターや友達との交流でとても充実した毎日でしたが、モンリオールはトロントやニューヨークも近く、日本からは簡単に訪れられる距離ではないのでどこか時間をつくって観光すればよかったと後悔しました。

留学を振り返って・・・

3 週間の留学を終えて、モンリオールでの生活は毎日が本当に楽しかったです。自分の英語力をより成長させることができ、自信ができました。モンリオールの人々はみんな親切でわからないことがあり困っていれば声をかけてくれたり、道ですれ違う人でも目が合えばニコッと微笑んでくれる人ばかりでした。京都文教大学からは私一人の参加でしたが、初日には多くの友達ができていました。留学で大切なことは、何事も自分から行動を起こすことだと思いました。留学を終えて 2 か月が経とうとしていますが、今でもモニターの友達や韓国や中国、メキシコの友達とも連絡を取っています。他大学から参加していた日本人の友達もとても仲良くなれたので、帰国してからも一緒に遊びに出かけました。留学のおかげで人とのつながりが広がり、自分への自信も高めることができました。また機会があるならば必ずモンリオールに訪れたいと思います。

京都文教大学の学生にも・・・

私は、もっと京都文教大学に通う学生に大学生活に一度は留学を経験することを強く勧めます。今回の夏季留学に参加した学生が思った以上に少なく、最初はとても驚きました。京都文教大学には、国際文化コースがありますが今回留学を希望していた学生の中で国際文化コースから参加したのは私だけでした。モントリオールで出会った他大学の学生は何十名という大きな団体で参加していました。学部を聞いても看護学部や経済学部などのさまざまなジャンルの学部から参加していました。私が留学を経験してよかったと感じることは、親元を離れ、自分の力で何かを成し遂げるといった経験が留学のおかげで大きく変わることです。日本とは真逆の環境、文化、多種多様な人たちとの交流に一生忘れない貴重な思い出をつくることができます。今回の留学では、韓国、中国とメキシコからきた学生と仲良くなり、それぞれの国に観光したときは、また日本に訪れたときには案内し合うという約束もして、今では、SNS でいつでも連絡を取ることができるので絶やすことはありません。現地の人や他国からきた人たちは、誰しもがとてもフレンドリーで、積極的です。英語に自信がなくてもうまく話せなくても間違っても全く気にされず、むしろ話しかけると倍に話しかけてくれます。留学には複雑な英文法など必要なく、完璧な発音も誰も気にしません。カナダは、さまざまな人種の人々が生活しているので、差別もなく留学にはぴったりの国だと考えます。

